3教 内容解説資料 この資料は，一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則っております。

令和3年度 中学校

新訂 新しい道徳 指導書のご案内

東京書籍

教師用指導書 研究編

「主体的・対話的で深い学び」のためのポイントを、具体的に解説しています。

生徒の学習状況を見取る際のポイントや、その場面と方法、生徒の成長や変容を見取る視点の具体例について解説しています。

授業の流れに加え、生徒の反応例や留意点が確認できます。

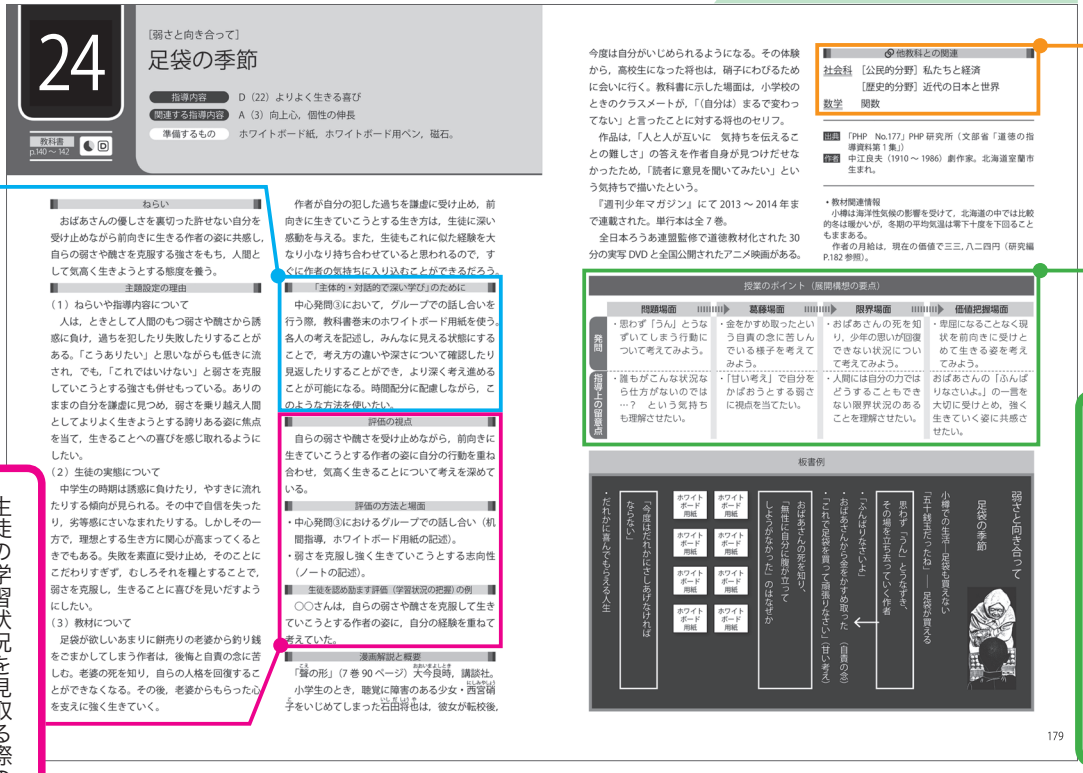
各指導過程における時間の目安を示しています。

カリキュラム・マネジメントに役立つ、他教科との関連を示しています。

授業に役立つポイントを紹介。授業展開に必要な情報や、さらに授業を発展させたいときのヒントを得ることができます。

別案も掲載しています。

教材によっては、教材内容に関連した資料が付いています。



3年 24「足袋の季節」教科書 p.140~142

24 [弱さと向き合って] 足袋の季節

指導内容 D（22）よりよく生きる喜び
関連する指導内容 A（3）向上心，個性の伸長
準備するもの ホワイトボード紙，ホワイトボード用ペン，磁石。

教科書 p.140～142

ねらい
おばあさんの優しさを裏切った許せない自分を受け止めながら前向きに生きる作者の姿に共感し，自らの弱さや醜さを克服する強さをもち，人間として気高く生きようとする態度を養う。

主題設定の理由
（1）ねらいや指導内容について
人は，ときとして人間のもつ弱さや醜さから誘惑に負け，過ちを犯したり失敗したりすることがある。「こうありたい」と思いながらも低きに流され，でも，「これではいけない」と弱さを克服していこうとする強さも併せもっている。ありのままの自分を謙虚に見つめ，弱さを乗り越え人間としてよりよく生きようとする誇りある姿に焦点を当て，生きることへの喜びを感じ取れるようにしたい。
（2）生徒の実態について
中学生の時期は誘惑に負けたり，やすきに流れたりする傾向が見られる。その中で自信を失ったり，劣等感にさいなまれたりする。しかしその一方で，理想とする生き方に関心が高まってくるときでもある。失敗を素直に受け止め，そのことにこだわりすぎず，むしろそれを糧とすることで，弱さを克服し，生きることに喜びを見いだすようにしたい。
（3）教材について
足袋が欲しいあまりに餅売りの老婆から釣り銭をごまかしてしまう作者は，後悔と自責の念に苦しむ。老婆の死を知り，自らの人格を回復することができなくなる。その後，老婆からもらった心を支えに強く生きていく。

作者が自分の犯した過ちを謙虚に受け止め，前向きに生きていこうとする生き方は，生徒に深い感動を与える。また，生徒もこれに似た経験を大なり小なり持ち合わせていると思われるので，すぐに作者の気持ちに入り込むことができるだろう。

「主体的・対話的で深い学び」のために
中心発問③において，グループでの話し合いを行う際，教科書巻末のホワイトボード用紙を使う。各人の考えを記述し，みんなに見える状態にすることで，考え方の違いや深さについて確認したり見返したりすることができ，より深く考え進めることが可能になる。時間配分に配慮しながら，このような方法を使いたい。

評価の観点
自らの弱さや醜さを受け止めながら，前向きに生きていこうとする作者の姿に自分の行動を重ね合わせ，気高く生きることについて考えを深めている。

評価の方法と場面
・中心発問③におけるグループでの話し合い（机間指導，ホワイトボード用紙の記述）。
・弱さを克服し強く生きていこうとする志向性（ノートの記述）。

生徒を認め励ます評価（学習状況の把握）の例
○○さんは，自らの弱さや醜さを克服して生きていこうとする作者の姿に，自分の経験を重ねて考えていた。

漫画解説と概要
「弱の形」（7巻 90 ページ）大今良時，講談社。
小学生のとき，聴覚に障害のある少女・西宮硝子をいじめてしまった石田将也は，彼女が転校後，

今度は自分がいじめられるようになる。その体験から，高校生になった将也は，硝子にわびるために会いに行く。教科書に示した場面は，小学校のときのクラスメートが，「（自分は）まるで変わってない」と言ったことに対する将也のセリフ。
作品は，「人と人が互いに 気持ちを伝えることの難しさ」の答えを作者自身が見つけだせなかったため，「読者に意見を聞いてみたい」という気持ちで描いたという。
『週刊少年マガジン』にて 2013～2014 年まで連載された。単行本は全 7 巻。
全日本ろうあ連盟監修で道徳教材化された 30 分の実写 DVD と全国公開されたアニメ映画がある。

他教科との関連
社会科 ［公民的分野］私たちと経済
［歴史的分野］近代の日本と世界
数学 関数

出典 「PHP No.177」PHP 研究所（文部省「道徳の指導資料第 1 集」）
作者 中江良夫（1910～1986）劇作家。北海道室蘭市生まれ。

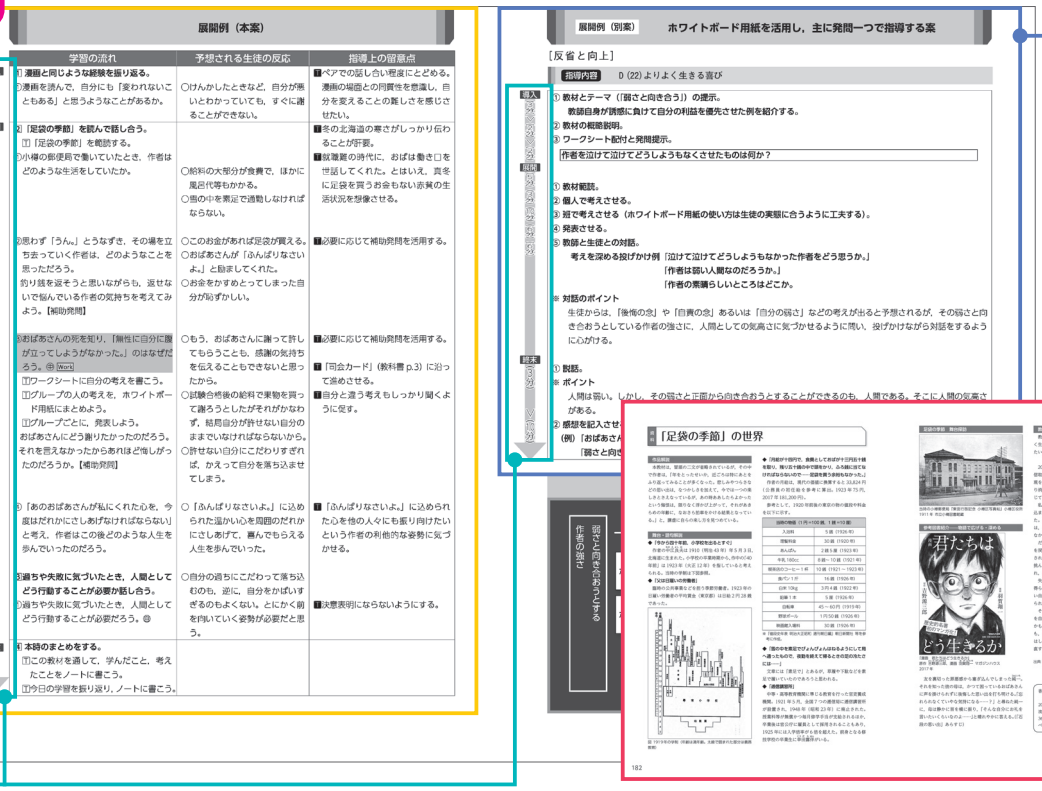
・教材関連情報
小樽は海洋性気候の影響を受けて，北海道の中では比較的冬は暖かいが，冬期の平均気温は零下十度を下回ることもまある。
作者の月給は，現在の価値で三三，八二四円（研究編 P.182 参照）。

授業のポイント（展開構想の要点）

	問題場面	基礎場面	限界場面	価値把握場面
発問	・思わず「うん」とうなずいてしまう行動について考えてみよう。	・金をかすめ取ったという自責の念に苦しんでいる様子を考えてみよう。	・おばあさんの死を知り，少年の思いが回復できない状況について考えてみよう。	・卑屈になることなく現状を前向きに受けとめて生きる姿を考えてみよう。
指導上の留意点	・誰もがこんな状況なら仕方がないのでは…？ という気持ちも理解させたい。	・「甘い考え」で自分をかばおうとする弱さに視点を当てたい。	・人間には自分の力ではどうすることもできない限界状況のあることを理解させたい。	おばあさんの「ふんばりなさいよ」の一言を大切に受けとめ，強く生きていく姿に共感させたい。

板書例

179



展開例（本案）

学習の流れ	予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入 5分 1 漫画と同じような経験を振り返る。 ○漫画を読んで，自分にも「変われないこともある」と思うようなことがあるか。	○けんかしたときなど，自分が悪いとわかっていても，すぐに謝ることができない。	■ペアでの話し合い程度にとどめる。漫画の場面との同質性を意識し，自分を変えることの難しさを感じさせたい。
展開 35分 2 「足袋の季節」を読んで話し合う。 ①「足袋の季節」を範読する。 ○小樽の郵便局で働いていたとき，作者はどのような生活をしていたか。	○給料の大部分が食費で，ほかに風呂代等もかかる。 ○雪の中を素足で通勤しなければならない。	■冬の北海道の寒さがしっかり伝わることが肝要。 ■就職氷河の時代に，おばは働きロを世話してくれた。とはいえ，貧冬に足袋を買うお金もない赤貧の生活状況を想像させる。
②思わず「うん」とうなずき，その場を立ち去っていく作者は，どのようなことを思っただろう。 釣り銭を返そうと思いながらも，返せないで悩んでいる作者の気持ちを考えてみよう。【補助発問】	○このお金があれば足袋が買える。 ○おばあさんが「ふんばりなさいよ。」と励ましてくれた。 ○お金をかすめとってしまった自分が恥ずかしい。	■必要に応じて補助発問を活用する。
③おばあさんの死を知り，「無性に自分に腹が立ってしょうがなかった。」のはなぜだろう。 Work ①ワークシートに自分の考えを書こう。 ②グループの人の考えを，ホワイトボード用紙にまとめよう。 ③グループごとに，発表しよう。 おばあさんにどう謝りたかったのだろう。それを言えなかったからあれほど悔しがったのだろうか。【補助発問】	○もう，おばあさんに謝って許してもらうことも，感謝の気持ちを伝えることもできないと思ったから。 ○試験合格後の給料で果物を買って謝ろうとしたがそれがかなわず，結局自分が許せない自分のままでいなければならないから。 ○許せない自分にこだわりすぎれば，かえって自分を落ち込ませてしまう。	■必要に応じて補助発問を活用する。 ■「同会カード」（教科書 p.3）に沿って進めさせる。 ■自分と違う考え もしっかり聞くように促す。
④「あのおばあさんが私にくれた心を，今度はだれかにさしあげなければならない」と考え，作者はこの後どのような人生を歩んでいったのだろう。	○「ふんばりなさいよ。」に込められた温かい心を周囲のだれかにさしあげて，喜んでもらえる人生を歩んでいった。	■「ふんばりなさいよ。」に込められたひを他の人々にも振り向けたいという作者の利他的な姿勢に気づかせる。
⑤過ちや失敗に気づいたとき，人間としてどう行動することが必要か話し合う。 ○過ちや失敗に気づいたとき，人間としてどう行動することが必要だろう。	○自分の過ちにこだわって落ち込むのも，よくない。とにかく前を向いていく姿勢が必要だと思う。	■決意表明にならないようにする。
末末 5分 3 本時のまとめをする。 ①この教材を通して，学んだこと，考えたことをノートに書こう。 ②今日の学習を振り返り，ノートに書こう。		

展開例（別案） ホワイトボード用紙を活用し，主に発問一つで指導する案

［反省と向上］

指導内容 D（22）よりよく生きる喜び

導入 5分
① 教材とテーマ（「弱さと向き合う」）の提示。
教師自身が誘惑に負けて自分の利益を優先させた例を紹介する。
② 教材の概略説明。
③ ワークシート配付と発問提示。
作者を泣けて泣けてどうしようもなくさせたものは何か？

展開 35分
① 教材範読。
② 個人で考えさせる。
③ 班で考えさせる（ホワイトボード用紙の使い方は生徒の実態に合うように工夫する）。
④ 発表させる。
⑤ 教師と生徒との対話。
考えを深める投げかけ例「泣けて泣けてどうしようもなかった作者をどう思うか。」
「作者は弱い人間なのだろうか。」
「作者の素晴らしいところはどこか。」

※ 対話のポイント
生徒からは，「後悔の念」や「自責の念」あるいは「自分の弱さ」などの考えが出ると予想されるが，その弱さと向き合おうとしている作者の強さに，人間としての気高さに気づかせるように問い，投げかけながら対話をするように心がける。

末末 5分
① 脱話。
※ ポイント
人間は弱い。しかし，その弱さと正面から向き合おうとすることができるのも，人間である。そこに人間の気高さがある。
② 感想を記入させ
（例）「おばあさ
「弱さと向

弱さと向き合おうとする作者の強さ

182

180

評価文作成をサポート

評価文作成に役立つ「道徳評価文例作成資料」を「教師用指導書　研究編 DVD-ROM」に収録予定。「道徳評価文例作成資料」は，生徒の自己評価と，日々の授業で見取った内容を入力することで自動的に評価文例が作成されるシステムです。

Web ページから，「道徳評価文例作成資料」のサンプル版データをダウンロードできます。

教師用指導書 指導編【朱書】（冊子版／デジタル版（1 ライセンス））

※デジタル版は，先生用の端末で利用できます。

発問は補助発問も含めて示しています。生徒の反応例や、留意したい点も掲載しています。

教科書の縮刷紙面の周りに、授業に必要な情報を示しています。

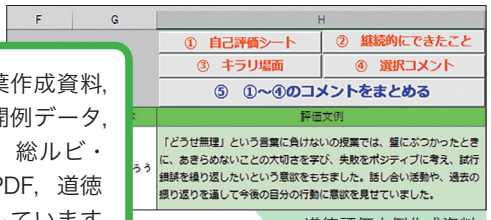
3 年 24「足袋の季節」教科書 p.140~142

そのままコピーして使えるワークシートの冊子と、編集可能なデータを用意しています。

教師用指導書 ワークシート編

教師用指導書 研究編 DVD-ROM

全体計画例や全体計画別葉作成資料，ワークシートデータ，展開例データ，場面絵データ，道徳通信，総ルビ・分かち書きの教科書紙面 PDF，道徳評価文例作成資料を収録しています。



道徳評価文例作成資料

教師用指導書 朗読 CD

プロの声優による全教材の朗読音声や BGM を収録。

指導者用デジタルブック（インストーラー有り版／無し版）

資料映像を多数用意しています。

電子黒板を使用して、教科書紙面や、関連するコンテンツ（朗読音声、動画等）を提示することができます。朗読部分はマーカーで強調されます。

教師用指導書セット　各学年本体価格 28,000 円（税別）

- 研究編（各学年 1 冊）
- 指導編【朱書】（各学年 1 冊）※分売（冊子版，デジタル版（1 ライセンス））有り。
- 研究編 DVD-ROM
- 朗読 CD
- 指導者用デジタルブック（インストーラー有り版／無し版）
- ホワイトボード用ペン（10 本）

教師用指導書　指導編【朱書】（分売）　冊子版　各学年本体価格 5,000 円（税別）

デジタル版（1 ライセンス）　各学年本体価格 4,000 円（税別）

これらの商品は企画中のため，内容・仕様ともに予告なく変更になる場合があります。